

(仮) 幼児教育保育推進計画の策定について

こども部 幼稚園保育園課

1 (仮) 幼児教育保育推進計画について

■目的

本市は、磐田市幼稚園・保育園再編計画の第1期計画を平成26年2月に、第2期計画を平成29年3月に策定し、主に幼稚園・保育園の再編にかかる事業を推進してきました。

第3期計画は、名称を(仮)幼児教育保育推進計画とし、将来にわたって多様な教育・保育ニーズに応え、充実した幼児教育・保育環境を持続していくため、磐田市幼稚園・保育園再編計画や関連する行政計画を踏まえ、施設の再編やサービス内容等について、具体的な検討を進める際の指針として策定するものです。

■現状

全国的に少子化が進行する中で、核家族化や女性の社会進出に伴う共働き世帯の増加、就労形態の多様化により、子どもを取り巻く環境は大きく変化しており、少子化の進行とは相反する形で保育ニーズは上昇し続けています。

このような中で、良好な教育・保育環境を整えていくためには、施設整備だけではなく、保護者の多様な就労形態や教育・保育ニーズに合わせた受け入れ環境の整備や安心して子どもを産み育てられる環境づくりが求められています。

■課題

- ・公立園は、平成25年度までに全ての施設で耐震化は完了したものの、多くの施設が昭和40年代から50年代にかけて建設されており、老朽化が顕著
- ・令和3年度当初において、待機児童は0人だが、待機児童から除外された入園調整中児童は100人以上おり、今後も保育枠の拡充が必要
- ・保育時間の延長や病児保育の拡充など、保護者の多様な働き方にあわせた保育サービスの提供
- ・特別な支援が必要な子どもやその保護者へのサポート体制の拡充

2 今までの計画の流れ

幼稚園・保育園再編計画の第1期（平成25年度～28年度）と第2期（平成29年度～令和3年度）で、約1,200人の保育枠の拡大をしてきました。

その結果、本市の待機児童は0人となりましたが、待機児童の定義より除外された調整中児童は100人以上いることから、今後も保育枠の拡充が必要となっています。

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
		第1期 子ども・子育て支援事業計画				第2期 子ども・子育て支援事業計画								
幼稚園・保育園再編計画 第1期			幼稚園・保育園再編計画 第2期											
									(仮)幼児教育保育推進計画					

■幼稚園・保育園再編計画で実施してきたこと

- ・福田地区5園の統合、福田こども園の建設と開園
- ・豊岡東幼稚園、豊岡北幼稚園の統合
- ・公立園6園の認定こども園化
- ・磐田北幼稚園の再築
- ・磐田中部と磐田西幼の統合、磐田なかよしこども園の建設と開園
- ・豊田南第3保育園、岩田こども園の民営化
- ・公立幼稚園の預かり保育全園実施
- ・民間保育園の認定こども園化支援
- ・地域型保育事業の開設支援

3 保護者アンケートの実施について

(1) 内容

- ①目的 「(仮)幼児教育保育推進計画」策定 の基礎資料とするため
幼児教育・保育のニーズを把握するため
- ②期間 令和3年7月12日(月)～8月6日(金)
- ③対象 お子さんが公立園に在園している世帯 2,014世帯
- ④回答数 電子回答1,237件、書面回答27件 計 1,264件
- ⑤回答率 約62.7%

(2) 調査結果の概要

①「磐田市幼稚園・保育園再編計画」について

- ・計画の認知度は約3割
- ・今後の計画に期待すること：老朽化している園舎の建て替え
幼稚園とこども園での預かり保育時間の拡充

②施設整備について

i) 公立園の民営化や統合について

- ・メリット：園舎の建て替え
- ・デメリット：通園距離が遠くなる可能性

ii) 園への子育て支援センターの併設について、

- ・メリット：就園前に園に慣れることができる
- ・デメリット：送迎時の混雑

iii) 園に子育て支援センターを併設した場合に期待するサービスについて

- ・園児との交流、園行事参加
- ・発達支援への早期対応

③保育サービスについて

i) お子さんの成長に関する相談場所について

- ・約7割の方が充実していると感じている
- ・発達支援等の専門職の配置を求める意見もあり

ii) 公立保育園で土曜保育が1日実施された場合は、約4割の方が利用を検討

iii) 幼稚園型認定こども園での土曜保育については、約5割の方が利用に前向き

iv) 幼稚園及び認定こども園の幼稚園枠の預かり保育については、約6割の方が時間の拡充を希望

④その他、自由意見

- ・施設や駐車場等の環境整備
- ・保育士の待遇改善
- ・発達支援に関する施策の充実化
- ・預かり保育の拡充

4 今後の考え方

■市が抱える課題

- ・ 保育環境の整備（老朽化している園舎の対応）
- ・ 多様な保育サービスの提供
- ・ 子育てに関する保護者の不安や悩みの解消

■保護者アンケートでの要望

- ・ 老朽化している園舎の建て替え
- ・ 公立園における土曜日の一泊保育
- ・ 預かり保育時間の延長
- ・ 園業務のICT化
- ・ 相談窓口の拡充



課題や要望を踏まえて
 (仮) 幼児教育保育推進計画 を策定
 ※令和4～8年度の5年計画

■策定スケジュール

時期	内容
～10月	計画作成、関係部署との調整
11月	計画案の完成 → 子ども・子育て会議委員へ送付
12月	第2回子ども・子育て会議において審議 → 計画案の修正
R4年1月	議会への説明、最終調整
2月	計画の完成
3月	計画の公表